

はつらつ
ところっこ

夢は無限大！人の心を動かせる声優に



声優兄弟

おだかいせい 織田 海誓さん・あおば 碧葉さん(市内在住)

2018年から日本初のキッズ声優養成所「YOUボイス」でレッスンを開始。動画配信サービスのNetflixでは、アニメ作品「マイティ・エクスプレス」で初の兄弟共演を果たすなど多くの作品で活躍。中学1年生の海誓さんは生徒会役員をこなし、小学4年生の碧葉さんはドラマやルービックキューブ、工作と多趣味。

memo

YOUボイスHPでは二人の出演実績や声を確認できます♪

取材の日、出会ってすぐに「よろしくお願ひします！」と明るい笑顔に歯切れよい挨拶。兄弟ともに声優として活動中の織田海誓さんと碧葉さんだ。自分がオーディションの審査員だったらぜひ合格を出したい、と感じさせる初対面だった。学校に通いながら、下校後や週末にレッスンや収録をこなす。きっかけは映画「スター・ウォーズ」。吹替版を何度も見ているうちに海誓さんは声優に興味を持ち、「YOUボイス」でレッスンを開始。碧葉さんも大好きな兄と一緒に始めることに。レッスンは週に一回、年齢別クラスで行われる。小学生のうちには連想ゲームやお手玉遊びなどを通じて「セリフを相手に届ける」ことを楽しみながら体に染み込ませ、中学生になるとより実践的に。声だけで表現しなければならぬ声優の仕事は役作りが肝となる。「台本の『…』や『!』にはどんな気持ちが込められているのだろう」「この動きをしている時はどんな声が出るかな」と台本を読み込み、映像を観察して役を作っていく。

「とろざわサクラタウンでの朗読劇『風の聲 ～妖怪大戦争 外伝～』が特に印象に残っています」と海誓さん。猫又役に抜擢され、朗読劇に挑戦した。「生い立ちやなぜ妖怪になったか、などの質問を100個考えて役作りをしました」

と楽しげに語る。現場では、声優の山寺宏一さんや元宝塚の七海ひろきさんといった豪華な共演者たちの演技に圧倒されながらも、セリフ変更や演出にも対応し、いざ本番へ。収録とは異なり、舞台上で生の声を届ける朗読劇。4回の公演ごとに変わる「生きた舞台」を経験し、海誓さんにとって忘れられない作品の一つとなった。



▲書き込みでいっぱいの上で生の声を届ける朗読劇の台本と

「世界に自分の声が届くのが声優の魅力」という碧葉さんは、泣く演技やホラー映画の吹き替えに苦労しながらも、監督や共演者、兄からもアドバイスをもらい、役になりきる。仲良しの織田兄弟は「頼れる兄ちゃん」「かわいい弟」と、収録現場でも家庭でも互いを認め合い、良い関係を築いている。

海誓さんは大ファンの海外アニメ作品「LEGO スター・ウォーズ」への出演や数々の作品で主役を演じ、碧葉さんは恩師の水島裕さんと共演するなどの経験を積んできたが、「もっとたくさんの作品に出たい」「いつかは演出側で作品を作りたい」と、まだまだ夢は無限大。声優の仕事が大好きな二人は、これからも声に気持ちを乗せて、たくさんの人の心に思いを届けてくれるだろう。(取材：齋藤)



今月のプレゼントクイズ！

優しい味とほかほかの温かさが染み入る…♡
選べるたこ焼き(6個)&とろざわ醤油焼きそば
(1,000円相当×50人)



だしの効いた生地の中から大粒の真だこが出てくるたこ焼きは、ふわふわ&トロトロの関西風。店名の通り、口に入れた瞬間に「多幸福」で満たされる一品♪プレゼントは所沢産の野菜・醤油・麺を使った香ばしい焼きそばとセット。店内はもちろん、テイクアウトや事前注文もできるので、ランチや仕事帰りに立ち寄ってみては？

●たこ福
西所沢1-10-4
西とこキッチンNO3
☎2930-1507
(午前11時～午後2時、4時～10時/日曜・年末年始定休、不定休あり)

- ◆今月のクイズ
10・11・12面のクイズを解き、空欄に入る文字を順番につなげると？
- ◆応募方法(12月10日(金)締め切り)
①クイズの答え②郵便番号③住所④氏名⑤年齢⑥電話番号⑦12月号の感想を記入し、〒359-8501 広報課に郵送・市HP(Qプレゼント)で応募※当選者の発表は、引換券の発送をもって代えさせていただきます。
- ◆プレゼント提供事業者も募集中！
詳細は、市HP(Qプレゼント募集)をご覧ください。

読者感想文

- ゼロカーボンって、人間が排出している二酸化炭素(CO₂)を実質ゼロにすることなんです。私もCO₂を家庭から減らせるように頑張ります(小手指南・70代)
- 近くでも車移動することが当たり前になっていました。身近でできることから始めようと思いました(亀ヶ谷・30代)
- まさに家電を買い換えようとしていたところだったので、11月号はぴったりでした(並木・80代)
- 環境について、子どもと一緒に楽しんで読むことができ良かったです(久米・40代)
- 編集から●ゼロカーボン特集をきっかけに日常生活を見直し、できる選択を考えてみませんか？
- たびたび携帯に架空請求がきていて困っていたので、消費生活トラブル注意報が特に役立った号でした(中新井・40代)
- 編集から●住宅・水道修理など多様化するトラブルにご用心！
- 小学生の我が子が飛び付いて読んでいました。蚕を持ち帰って育てたことを昨日のこのように思い出し、親子で話しました。私たちが関わったのはほんの一部で、小暮さんのご厚意で飼育できたことに改めて感謝です(小手指町・40代)
- 編集から●前号はつらつところっこの小暮家の皆さんに、感謝と尊敬、応援の言葉が多数届きました

編集後記

織田兄弟のインタビューを担当。さすが大人の中で働いている二人はしっかりと受け答え。とにかく声優の仕事が楽しくて仕方がないことが伝わってきました。コロナ禍で共演者とのコミュニケーションの機会が減ったとのこと。さまざまな業界が影響を受けていますが、「密」は避けつつも、人との関わり合いが薄まらないように過ごしたいものです。愛らしい二人の成長と、今後の活躍も見逃せません(齋藤)

ごみの分け方・出し方特集を担当しました。出したごみをさらに分別する人たちがいる現実にごみは出して終わりじゃないことを痛感。年末を待たず、今から少しずつ身の回りを整理しなくては(宮崎)

今年も残すところあと1カ月。みなさんの年末の恒例行事は何ですか？私は落語の「芝浜」を聴くこと。本号のエッセイのように今年を振り返り、大いに反省し、来年こそは！と誓う、春待月です(坂本)